

## 行政データの有効活用

**問** 本市の公共データをオープンデータとして公開することで、民間事業者等が有効活用できるのではないかと。

**答** 本市のホームページ上で公開している情報は、オープンデータに合致する形になっていないため、国が推奨するデータ形式に沿うように、現在、基本的統計データである地域・年齢別人口、世帯数のほか、イベント、観光施設、子育て施設など公開するデータの整理を進めており、今年度中の公開に向けて取り組みを進めていく。

オープンデータ：国や地方公共団体等が保有するデータのうち、市民や民間企業等が容易にデータの編集や加工が可能で、営利・非営利を問わず二次利用が無償かつ自由にでき、機械で読み取りやすいものとしてインターネット等で公開されたデータのこと。

## まちづくりに関する県市連携

**問** ことし8月に県に対して行った、市政に関する要望についての成果を伺いたい。

**答** 本市が抱える重要課題の解決に向けては、県の支援や協力が欠かせないと考えており、毎年度、県に対して要望を行っている。

今年度は長崎市政に関する20項目の

要望を行い、特に幹線道路等の整備推進と道路予算の確保を重点項目の一つとして要望したところ、長崎南北幹線道路について、9月に有識者や地元関係者等で構成するルート選



県への要望活動の様子

定委員会が立ち上がり、事業化に向けて、大きく前進した。今後県と連携し、次の時代を見据えた長崎のまちづくりを進めていきたい。

## 明政クラブ

### 小中学校のタブレット端末の活用

**問** プログラミング教育の必修化に当たり、タブレット端末をどのように活用するのか、方向性も含めて伺いたい。

**答** 来年度から全面实施となる新学習指導要領においては、小学校でのプログラミング教育が新たに加わり、教科を含めたさまざまな教育活動において段階的に指導することとなっている。特に来年度から使用する教科書に掲載されている内容として、高学年では、タブレット端末を活用してプログラムを

作成する等の授業実践が行われることとなっている。

今後プログラミング教育をはじめとして、さまざまな教育活動の中でタブレット端末を有効活用していきたい。



### 子宮頸がん予防の取り組み

**問** ワクチン接種について、本市の見解を伺いたい。

**答** 子宮頸がんワクチンは、小学6年生から高校1年生相当の女子を対象に定期予防接種となっているが、国から接種を積極的に勧奨すべきではないとの勧告が出され、積極的勧奨は差し控えている状況である。

本市では、ホームページ等においてワクチンの有効性と副反応等について周知を図っているが、対象者への個別の情報提供のあり方については、今後検討していきたいと考えている。また、国に対し、ワクチンの適切な情報提供、安全性の確保、安心して接種が受けられる実施体制の早期整備について、全国市長会を通じて継続して要望していきたい。

## 市役所での知的障害者の雇用促進

**問** 知的障害者の雇用促進のため、市が率先して仕事をつくり出し、雇用の考えはないか。

**答** 本市では、身体障害者を対象とした正規職員の採用試験や、その他の障害者も対象とした非常勤職員の募集を行っているっており、今年度は正規・非常勤合わせて69人の障害者を任用し、法定雇用量を達成しているが、身体障害者と精神障害者のみの任用となっている。

今後、誰もが職業を通じて社会に参加できる共生社会の実現を目指し、まずは、特別支援学校の職場実習の受け入れについて課題を整理し、学校側と協議しながら、その可能性について検討していきたい。

## 公明党

### 動物愛護条例の制定

**問** 動物愛護の推進に向けて、不適切な餌やり行為の禁止を盛り込んだ動物愛護条例を制定すべきだと考えるが、本市の見解を伺いたい。

**答** 本市では、「まちなこ不妊化推進事業」に取り組み、殺処分数の減少や、不妊化手術数の増加等の成果を得ている。

今後、動物愛護管理行政を推進して